

# 京都府助産師会 2022年度 第2回定期研修会 『助産の本質』

(オンライン研修会)

2023年2月4日(土)

13:30~16:00

(講演90分・質疑応答30分・休憩含む)  
後日動画配信あり

「科学的根拠」ということが言われますが、  
そもそも科学的根拠とはなんですか。  
「助産の本質」を考える上で、重要になる  
科学的根拠についての考え方を理解して  
みましょう。

(配布資料なし。参考図書は、南山堂「科学的根拠  
から考える助産の本質」(三砂ちづる 編)です。)

・定員 100名

・参加費

京都府助産師会会員 3000円

他府県助産師会会員 4000円

助産師会非会員 5000円

学生(看護・助産師学生)500円

・申し込み方法

Peatix 申し込みサイトページ・下記QRコードより

<https://kyoto-mw-kyoiku20230204.peatix.com/>

・申し込み・キャンセル締め切り

2023年2月2日(木)

・お問い合わせ

Peatixより主催者へご連絡下さい



〈潜在助産師チケット購入について〉

京都府内在住の潜在助産師の方は、受講の割引制度があります。

[kyoto-midwife@ray.ocn.ne.jp](mailto:kyoto-midwife@ray.ocn.ne.jp)(潜在助産師担当)宛に、

件名「2月定期研修会潜在申込」とご記入の上ご連絡下さい。



写真 赤松洋太

講師 三砂ちづる氏

疫学者・作家。1958年山口県生まれ。兵庫県西宮市で育つ。

現在、津田塾大学多文化・国際協力学科教授。

著書に『オニババ化する女たち』(光文社)、『不機嫌な夫婦』(朝日新聞出版)、『親子のきずなが深まるおむつなし育児』(主婦の友社)、『女が女であること』(藤原書店)、『死にゆく人のかたわらでーガンの夫を家で看取った二年二カ月』(幻冬舎)、『少女のための性の話』(ミツイパブリッシング)、『女に産土はいらない』(春秋社)、『セルタンとリトラル』(弦書房)、編著に『科学的根拠から考える助産の本質』(南山堂)など多数